

第一回ネットワーク分科会 議事要旨

1. 日時

令和2年2月20日（木）9：15～10：30

2. 場所

都庁第二本庁舎 31階 特別会議室 23

3. 出席者

東京都関係各局、通信事業者等

4. 議題

(1) 東京都・通信事業者等からの取組状況等の説明

①東京都からの説明

- ・東京都保有アセットの開放についての取組状況
- ・現地調査から基地局設置までの流れについて

②通信事業者等の5Gに関する取組状況等の説明

- ・アセットデータベース・ワンストップ窓口の評価と課題
- ・5G基地局の設置状況
- ・5Gの普及に向けたPR活動・イベント 等

(2) スマート東京先行実施エリア（西新宿）について

①西新宿について概要説明

②東京都から通信事業者等への依頼事項

5. 議事概要

(1) 東京都・通信事業者等からの取組状況等の説明

通信事業者等から東京都に対し、以下の意見・要望があった。

○アセットデータベース（DB）・ワンストップ窓口の評価点

- ・ワンストップ窓口がアセット所管局へ引継ぐことで、確実に現地調査へ進めるようになった。
- ・DBの公開により、計画策定や物件調査の効率が大幅に改善された。
- ・基地局設置にあたって、どの局に相談したらいいかわからない、という問題がなくなった。
- ・本取組が他の自治体へも拡大しつつあり、全国的な基地局整備に期待が持てる。
- ・これまで基地局設置に難航していたエリアにおいて、設置の可能性が広がった。
- ・DBとワンストップ窓口により、希望するアセットの選定と申し入れの手続が大幅に省略化された。
- ・都のアセットが一元的にDBで可視化されたことはメリットがある。

○課題・要望

- ・ 複数通信事業者が一つのアセットに申し込んだ際、幹事会社設定のルール化や、設置優先順位の設定が必要。
- ・ 複数通信事業者が一つのアセットに設置する場合、個別に基地局を設置するのか、共用にするのか、整理してほしい。なお、共用にする場合は、固定資産や幹事会社の調整が必要となる。
- ・ 現地調査要望の相乗りが多く、あまり強固でない建物などの場合、結果的に全ての通信事業者が設置できないことが発生し得る。制限を設けるべきである。
- ・ 都営住宅への設置に際しての自治会・住民説明については、東京都から積極的に頭出しを行っていただきたい。
- ・ 重点整備エリアである西新宿や南大沢の一部アセットは、意匠等の問題で設置が困難となっている。設置に向け、東京都で調整いただきたい。
- ・ 各通信事業者間で、現地調査の窓口や、実際に現地調査をする担当者の担当業務が合っていない。相乗り時に、同じ目線で現地調査をするため、揃える方が良い。
- ・ アセットに機器設置スペースがある場所とない場所がある。設置スペースが厳しい場合には、アセット所管局で調整してもらえるとありがたい。
- ・ DBの情報から基地局設置検討を行う情報への変換に時間を要するため、通信事業者側の検討期間を今よりも長くいただきたい。また、DBの所在地情報の精度向上をお願いしたい。
- ・ スケジュールについて、現地調査日の連絡から実施日までの期間が短いので、余裕を持った日程調整をお願いしたい。
- ・ 本事務フローに基地局設置の機会が制限されるため、例えば、イベント等の臨時対応が必要な場合に対策が講じられない可能性がある。通信事業者側からの発信によるフローの確立等を検討いただきたい。
- ・ DBに建物の使用目的や、来場数、指定避難場所になっているか等の情報を追加してもらえると活用しやすくなる。
- ・ 事務フローについて、インフラシェアリングの観点から、ワンストップ窓口からの詳細情報の回答の際に、各社の設置済み状況として、屋外、屋内の種別の共有の検討をお願いしたい。
- ・ 屋内の共用装置を導入することで、東京都のアセットの中の通信環境を改善したいため、各社意向の共有の際に、設置先の希望として、「屋内」、「屋外」、「屋内/屋外」の種別の共有の検討をお願いしたい。
- ・ 行政財産の使用許可の手続は煩雑なところもあるため、東京都でオンライン申請等の運用により、効率化を検討いただきたい。

意見交換において、以下の質疑・依頼があった。

【住宅政策本部】

○質問・依頼内容

- ・ 都営住宅にアンテナ基地局を設置する場合、工事の調整等の取りまとめをお願いしたい。
- ・ 共用化について、検討がどの程度進んでいるのか、実現の可能性を伺いたい。
- ・ 都営住宅の場合は、代表者の自治会の方へ説明をいただくことが必要。また、専門的、技術的な質問への対応のため、対外的な説明用資料を提供していただきたい。

○通信事業者等より回答

- ・ 工事の調整等の取りまとめは必要だと思うが、取りまとめるルールが今はない。
- ・ 共用化について、東京都が提案しているアンテナ基地局の支持柱を共用した実績は、基本的にはこれまでほとんどない。
- ・ 屋内は既に民間でシェアリングをやっているため、民間で取りまとめる方法もある。
- ・ 屋外は、現在置かれている基地局との位置関係によって設置したい場所が変わってくるため、簡単にはいかない。
- ・ 東京都主導で課題を整理し、どのような設備をどのような方法で共用するべきか解決方法を今後協議することが必要ではないか。
- ・ なるべく早く設置するため、協議が必要なく、現地調査が終わったものについては単独で進め、複数の事業者が希望する物件については、並行して調整方法を検討するのはどうか。
- ・ 住民への説明については、様々な資料がある。必要に応じ、自治会や周辺への説明も可。

【建設局】

○質問・依頼内容

- ・ 建設局は工作物等も多数持っているため、アンテナ基地局の標準的な資料を提供いただきたい。

○通信事業者等より回答

- ・ 各社提供可。

【交通局】

○質問・依頼内容

- ・ 恐らく地上を優先して整備していると思うが、今後、地下空間について、どのように進めようと考えているのか伺いたい。
- ・ バス停については基本的に光ファイバーを引いていないが、光ファイバーが必要な場合、どのようなアプローチを考えているのか伺いたい。
- ・ 28GHz帯は指向性の問題等あると思うが、業界の動向を伺いたい。

○通信事業者等より回答

- ・ 地下鉄や地下街は公益社団法人 JMCIA が取りまとめている。JMCIA では、地下鉄、地下街側の工事が優先されていて、携帯電話キャリア側の工事がなかなか進んでいないため、東京都からも地下鉄・地下街の事業者に積極的にアプローチしていただきたい。
- ・ 地下鉄でスマートフォン等を使う方は多いので、積極的に都営地下鉄の対策を進めていきたい。
- ・ NTT 東日本もしくは電力系の固定通信キャリアに申し込んで光ファイバーを敷設する。
- ・ バス停は道路の上にあるので、架空で配線するか、地下を掘って配管を通すことになる。
- ・ バス停はきれいな形の意匠になっており、電柱の地中化も大分進んでいるため、恐らく掘削をして光ファイバーを引き込まないといけない。そこが一番ハードルが高いのではないか。
- ・ バス停の周りに人が集まるため、5Gの飛びにくい周波数の活用としては非常にいいアセットになる。
- ・ 28GHz帯は大容量伝送ができる非常に魅力的な周波数のため、様々な用途で積極的に活用していきたい。
- ・ グローバルな話になるが、28GHz帯のようなミリ波と呼ばれている周波数帯をメインに活用しているのは、アメリカの Verizon。それ以外の国は 3.6 GHz帯、Sub6と呼ばれている周波数帯をメインに展開していることが多い。

(2) スマート東京先行実施エリア（西新宿）について

東京都から通信事業者等に対し、以下の依頼を行った。

- ・ 重点整備エリアである西新宿及び南大沢地区において、重点的かつ優先的に 5G アンテナ基地局等を設置するなど、5G環境の早期整備の実現に向けて、ご協力願いたい。
- ・ 東京都として、アンテナ基地局設置にあたって、是非とも共用化を実現させたいと考えており、ご協力願いたい。
- ・ 都民や訪れる人の安全安心の確保に向けて、災害時においてもつながる環境の構築が不可欠であるため、ご協力願いたい。

通信事業者等より以下の質問があった。

- ・ 秋のイベントを目指して整備するにあたり、東京 2020 大会の関係で工事の規制等の予定はあるか伺いたい。
- ・ 都庁舎の 5G アンテナ基地局の設置について、屋外対策でのデザインや省スペース等に配慮した提案は、具体的にどこにすれば良いか。

- ・ スマートポールの面的な広がりについて東京都はどのようなイメージを考えているか。

東京都より以下のとおり回答があった。

- ・ 東京 2020 大会期間中の工事の規制等については、引き続き意見交換し、今後協議していきたい。
- ・ 屋外対策でのデザインや省スペース等に配慮した提案は、戦略政策情報推進本部 ICT 推進部で承る。
- ・ スマートポールについては、まず西新宿、南大沢エリアから推進できればと考えており、ここで得られたノウハウを他のエリアに展開していきたいと考えている。